

J A岩沼市の自己改革の取組について

これまでも、これからも、地域と共に

J A岩沼市は総合事業を展開します。

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

J Aは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J Aバンク）、共済事業（J A共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、J Aの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、J Aの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

J A岩沼市の自己改革の主な取り組みを次の3点により紹介します。

1. 農地保全活動への取り組み

農地保全活動の一環として、担い手経営体の管内の農道や水路の草刈を協力して実施いたしました。また、担い手経営体の設立支援をいたしました。

2. 生産者コスト低減に向けた取り組み【生産・生活資材取扱高 19,802 千円】

肥料・農薬の予約価格を安価で供給し生産費を抑えられるように努めています。また、担い手対応として予約注文品の支払期間の延長猶予を設定いたしました。

3. 地元農畜産物の消費拡大へ向けた取り組み【委託・買取販売品取扱高 716,546 千円】

県内唯一となるJ Aによる青果市場の運営を行い、岩沼を中心に近隣で生産された野菜などの青果を適正な値段で小売店に流通させております。